

# 期末大感謝セール 第12弾



厳選されたおすすめ機器のご紹介

# 39 CAMPAIGN

サンキューキャンペーン2025

令和7年 1月6日～3月31日まで

BANZAI 株式会社 バンザイ

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

営業部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6881

海外販売部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6894

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700

東京支店  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6840

名古屋支店  
名古屋市中千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600

大阪支店  
大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261

- 営業所 旭川・青森・秋田・盛岡  
郡山・山形・新潟・長野  
前橋・宇都宮・水戸・埼玉  
千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸  
高松・宮崎・鹿児島
- 出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・山陰・長崎  
大分・熊本
- 販売会社 バンザイ沖縄販売(株)

<https://www.banzai.co.jp>



ISO9001 認証取得  
ISO14001 認証取得

バンザイは SDGs を推進する  
日本ユネスコ協会連盟の維持  
会員として支援しています。

# BANZAI NEWS

2025  
Winter  
333

特集  
BANZAI NEWS

## 2024年総論 法令“厳守” 人財“尊重”技術“進取”の鍵は？





函館市 八幡坂 北海道

函館市の八幡坂(はちまんざか)は、坂道の両側に歴史的な建物が立ち並び、その先に函館湾が広がる美しい景観が人気の観光スポット。冬には雪景色とイルミネーションで幻想的な光の回廊で美しく彩られる。

## ★歳時記

- 1月 1日 元日
- 7日 七草
- 13日 成人の日
- 2月 2日 節分
- 3日 立春
- 11日 建国記念の日
- 23日 天皇誕生日
- 3月 3日 敬老の日
- 17日 彼岸入り
- 20日 春分の日



## ●目次

- ★新年のごあいさつ…………… ①
- ★特集  
ピンチをチャンスにし  
収益も信頼も得られるサービスショップとなるには?…………… ②
- 【第4回】2024年総論 法令“厳守”  
人材“尊重”技術“進取”の鍵は?…………… ③
- ★モデルショップ訪問  
【群馬日野自動車株式会社 高崎支店】…………… ⑥  
体制再編と新型設備で高めた生産性と働き方改革を  
推進する新社屋で会社の経営効率化をけん引
- ★【MSC感動夢工場 第5回研究会】…………… ⑧
- ★ショールーム…………… ⑩
- ★TOPICS<バンザイタイランドのご紹介>…………… ⑬
- ★ロータリー<バンザイタイランド創立55周年式典>…………… ⑯
- ★BANZAIガイド…………… ⑰

## あけましておめでとうございます

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また日頃よりご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

昨年の日本経済は、先行きの不確実性が高い状況が続き、インフレ率の上昇と金利の引き上げは消費者の購買意欲に大きな影響を及ぼしました。社会構造においては、少子高齢化や多様化するライフスタイル、デジタル化など、さまざまな変化が加速し、世界的な異常気象や自然災害が頻発した1年でもありました。これらの変化は、企業の経営戦略や社会全体の在り方に大きな影響を与え、持続可能な社会作りが求められる時代へと突入していることをあらためて感じます。

一方、自動車整備業界においての大きなトピックは、車検項目としてOBD検査が本格運用を開始したことです。私たちは、この新しい診断技術に対応した最新の整備機器のラインナップの強化を進めるとともに、技術者のスキルアップ、法規制への対応に関するセミナーやワークショップを定期的に開催し、業界全体の技術向上を支えてまいりました。

バンザイインフォメーション2025のテーマは「変化を楽しみ、そして未来へ」です。自動車整備業界は大きな転換期を迎えており、OBDシステムや、電気自動車、自動運転技術などの進展により、整備の方法やツールも大きく変わろうとしています。こうした新しい技術に対して慣れるまでは負担が生じるかもしれませんが、技術の進化に対応することは、業界全体の成長に繋がり、それは最終的に社会の安心と安全を支えることとなります。

今年は「オートサービスショー2025」が開催されます。「次世代モビリティと共に歩む整備機器」というテーマは、急速に進化する自動車業界において、今後求められる整備技術の革新と、それに対応する機器の重要性を再認識するものです。

私たちは、価値ある機器やサービスを通じて業界全体のさらなる発展と未来の整備技術の進化に貢献できることを誇りに思い、信頼と安心を提供し続けてまいります。

末文になりますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、本年も倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



株式会社 バンザイ  
柳田 昌宏

# 特集

BANZAI NEWS

ピンチをチャンスにし収益も信頼も得られるサービスショップとなるには？

第4回

## 2024年総論 法令“厳守” 人財“尊重”技術“進取”の鍵は？

2024年の本誌バンザイニュース特集では、「法令“厳守”の仕組み作り」「人財“尊重”のお店作り」「技術“進取”の取り組み」の3つをテーマとして、サービスショップの皆様が置かれている事業環境の目まぐるしい変化を積極的にチャンスとする方策を考えてきました。

当連載「ピンチをチャンスにし収益も信頼も得られるサービスショップとなるには?」、最終回の今回は、前述の3テーマについて、直近の状況も踏まえながら振り返りたいと思います。

### 「法令“厳守”の仕組み作り」 まずは経営と現場の意思疎通から

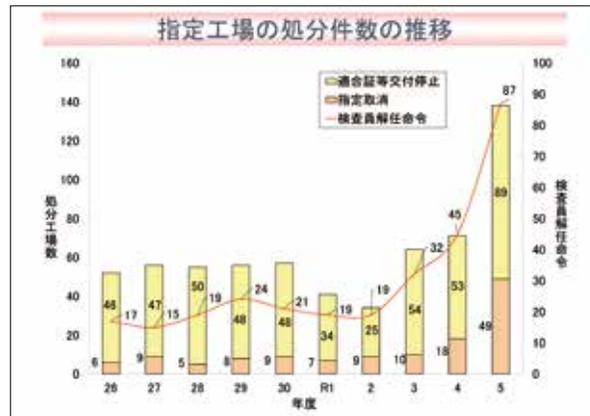
2021年頃より相次いで発覚した不正車検をはじめとして、2023年以降発覚した大手中古車販売店による保険金水増し請求など数多くの不法行為、さらにはカーメーカーや大手部品メーカーによる認証不正といった、コンプライアンス違反の事案が自動車業界全体で相次いで明るみになりました。

こうした不祥事の原因は大半の事例で、経営者・管理職と現場とのコミュニケーション不足、そして現場への過大な負荷に集約されます。さらには、不法行為が長年にわたり慣習として事実上見過ごされてきた、あるいは強要され続けたこ

とが指摘されるケースも見られます。

このような結果として失ったカーオーナーからの信頼を、アフターマーケットを含めた自動車業界全体が取り戻すのは、決して容易ではありません。ですがそのためにまず、不法行為の原因を根本的に取り除くこと、つまりは現場の実態に見合った目標を立てること、経営者・管理職と現場スタッフとの間でコミュニケーションの風通しを良くすること、これまで常識とされてきたことがコンプライアンス上問題ないかを見直すことが、強く求められています。

とはいえこうした組織改革は、目に見える成果が一朝一夕に出るものではありません。だからこそ、法令を“遵守”(決められたことに従い守ること)する以上に“厳守”(決められたこ



2014~2023年度の指定工場処分件数推移(出典:国土交通省)



2014~2023年度の指定工場の主な違反内容の推移(出典:国土交通省)

とを厳しく必ず守ること)するうえでも、不法行為を未然に防ぐ仕組みの構築が必要不可欠です。その一方で、故意ではないミスによる法令違反を防ぐことも欠かせません。

具体的には、車両の入庫時・納車時の状態を記録するのももちろん、点検・整備・修理の結果のみならず過程においても、法令違反がないよう随時チェックしながら作業内容を記録し、これらをお客様と共有することが理想的です。

しかし、そのために現場スタッフの作業が大幅に増加しては、かえって業務過多による法令違反を招きかねないため、こうした記録作業は可能な限り自動化するのがベストです。

そのお手伝いをする整備機器としてバンザイでは、お客様の来店履歴を記録する「AIナンバー認識来店システム」、タイヤの残溝などを確認・記録する「イーリートレッド」、「検査業務効率化システム ネットワーク9200Pro」とそのオプション「車両画像管理システム フォトサーバー2」などをご用意。またサイドスリップ・ブレーキ・スピードメーター複合テスター「トリプルテスター」に「サイドスリップセーフティロック」を追加オプション設定するなど、各機器を日々進化させています。

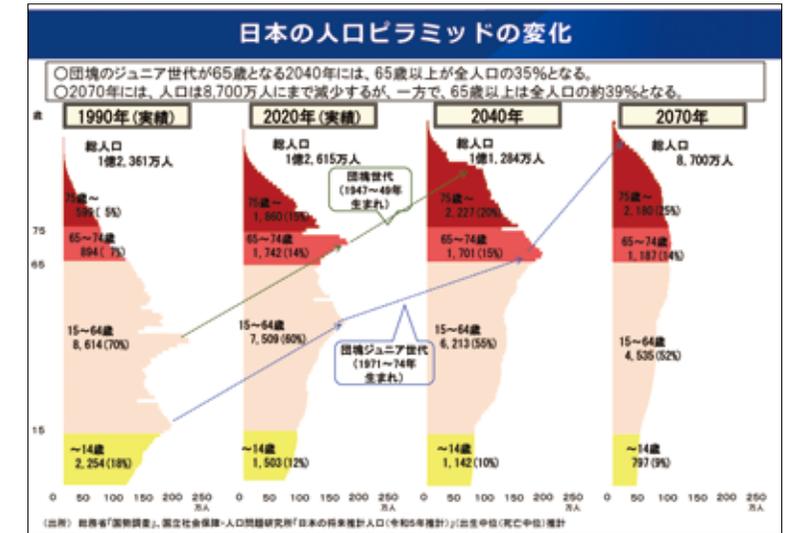
### 「人財“尊重”のお店作り」 最適な環境と役割の提供が肝要

人口減少は当面の間、政府により抜本的対策が講じられ、それが功を奏することでもない限り、ますます加速していくことは、ほぼ確実と言っていいでしょう。

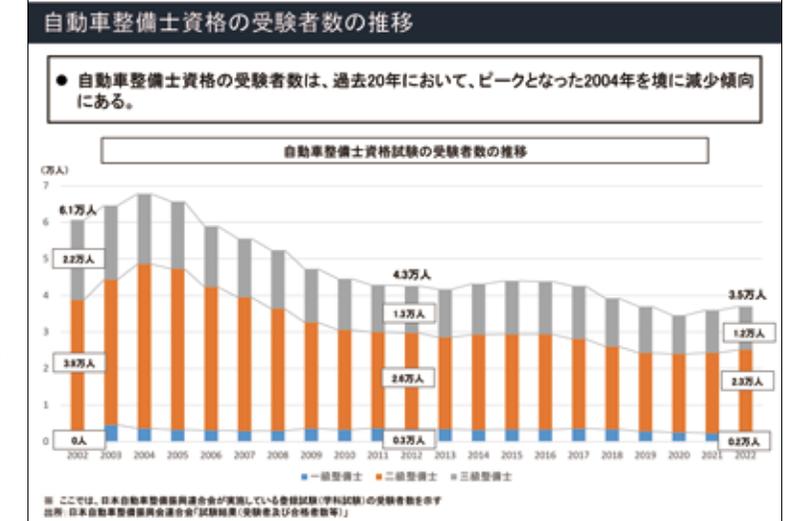
日本の総人口は、5年に一度行われる国勢調査のデータでは、2010年の約1億2800万

人をピークとして減少傾向にあり、直近の2020年では約1億2600万人に減少。また国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の将来推計人口(令和5年推計)」によれば、2070年には総人口が2020年比69.0%、8700万人にまで減少し、総人口に占める65歳以上人口の割合は2020年時点の28.6%から2070年には38.7%へ上昇すると予測されています。

また、メカニックに限って見ても、自動車整備専門学校への入学者数、自動車整備技能登録試験の受験申請者数は減少傾向が続くに対し、自動車整備要員の有効求人倍率は2022年度実績で4.72、全職種平均1.19の約4倍に達しました。



日本の人口ピラミッドの変化 (出典:厚生労働省webサイト「我が国の人口について」)

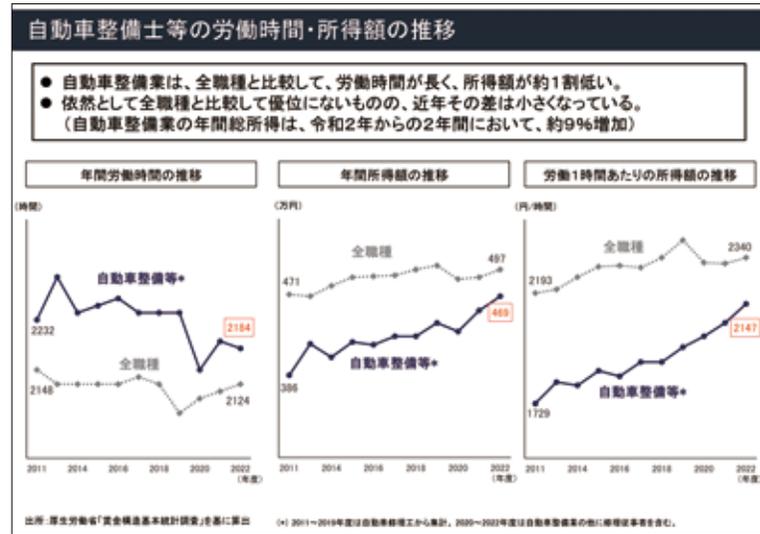


自動車整備士資格の受験者数の推移 (出典:国土交通省「自動車整備分野における人材確保に係る取組」)

自動車整備要員の平均年齢も2023年度調査時点で47.2歳と、過去最高の更新が続いています。

一方、自動車アフターマーケットの市場規模を示す指標の一つである、自動車保有台数は今なお微増傾向にあり、2024年3月末時点で前年同日比11万7323台増の8256万8673台。国土交通省が2024年3月に策定した「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン」でも、改善傾向にはあるものの自動車整備業は全職種と比較して過去10年間にわたり年間労働時間が長く年間所得額が低い状態が続いていること、また年間休日数が少ないことが指摘されています。

端的に言えば、いまメカニックの人財は圧倒的な売り手市



自動車整備士等の年間労働時間・年間所得額・労働1時間あたりの所得額の推移 (出典:国土交通省「自動車整備分野における人材確保に係る取組」)



平均年間休日数別の業種間比較 (出典:国土交通省「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン」)

場です。しかも、求められる知識・技術力は高く、肉体的負担も大きく、資格も必要で、休みは少なく、残業は多いのに、給料は安いとなれば、たとえ一時的に人財を確保できたとしても、その後の育成・定着は極めて困難です。もっと広い視点で見れば、メカニックの社会的地位向上もおぼつきません。

ですから、従来通りの考え方で人財を“確保”=必要不可欠なものを手に入れてしっかり守る、だけでは最早不十分です。人財を“尊重”=軽んじるべきではないものとして相応の扱いをすることが、今や必要不可欠です。

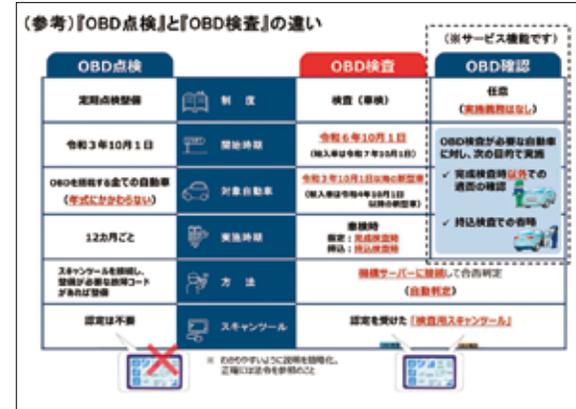
具体的には、まず給与、次いで年間労働時間、労働1時間あたりの所得額、年間休日数とも全職種平均以上の水準に引き上げること。そして、メカニック一人ひとりの得手不得手

やその時のライフステージに最も適した労働環境と役割を提供し、離職を防ぐよう細心の注意を払うことが、サービスショップの経営者や管理職の皆様にも求められているのです。

## 「技術“進取”の取り組み」トータルエイミングで一步先へ

BEV(バッテリー式電気自動車)は中国を中心に競争が激化、レベル3以上の自動運転技術は開発難易度の高さや法制度確立の遅れもあり、普及の進捗が過去の想定よりも遅れつつあります。しかし、それでもこうした電動化技術や予防安全技術の進化が進むことはあっても、完全に止まったり逆戻りしたりすることは決してありません。

すでに日本でも、自動運転技術の一步手前にあるADAS(先進運転支援システム)の進化・普及とともに、整備・修理技術の高度化と



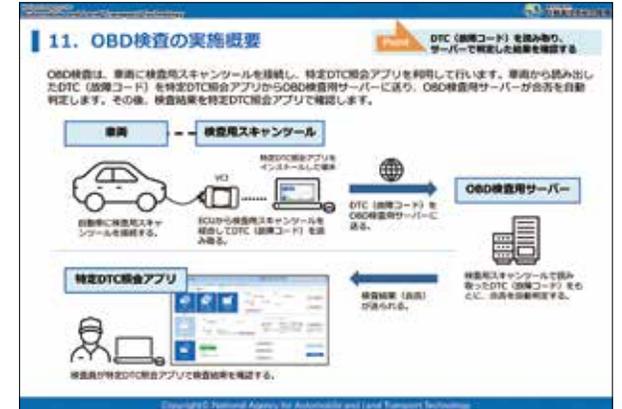
OBD点検・OBD検査・OBD確認の違い(出典:国土交通省)

関連法規・制度の厳格化が日々着々と進んでいます。

2020年4月には、従来の「分解整備制度」に加えて電子制御を用いた部位の整備(=電子制御装置整備)にも認証の取得を求める「特定整備制度」が始まり、2021年10月には12ヵ月点検時の点検項目にスキヤンツールでの故障診断を追加した「OBD点検」がスタート。そして2024年10月1日、車検の際、専用のアプリがインストールされたスキヤンツールを車載コンピューター(ECU)に接続し、保安基準不適合となる故障コード(DTC)がないかを診断する「OBD検査」の本格運用が開始されました(輸入車は2025年10月1日より)。

なお、「電子制御装置整備」の認証取得には、「OBD検査」の対象となる装置(自動運転装置、制動装置、かじ取り装置、排出ガス発散防止装置など)の故障を解消するための整備箇所を特定することが可能な「整備用スキヤンツール」の設置が義務付けられています。また「OBD検査」の実施には、保安基準に性能要件の規定がある運転支援技術(ABS、ESC、衝突被害軽減ブレーキ、ブレーキアシスト、車両接近通報装置)および自動運転技術、排ガス等発散防止装置の故障を診断できる「特定DTC」の有無を診断・検出可能な、日本自動車機械工具協会認定の「検査用スキヤンツール」が必要となります。

そして「OBD検査」の対象となる車両は、国産車は2021年10月以降の新型車(フルモデルチェンジ車)、輸入車は



OBD検査実務とDTCデータの流れ(出典:自動車技術総合機構)

2022年10月以降の新型車(フルモデルチェンジ車)とされていますが、2024年10月末時点でその対象型式は892、対象台数は登録車229万4985台、軽自動車99万6620台の計329万1605台にのぼっています。

従って、特に指定整備工場の皆様は、これら新技術・法令への“対応”が避けられなくなっているため、「電子制御装置整備」の認証取得や整備用・検査用スキヤンツールの設置をお済ませのことと思います。ですがこうした技術の進化、法令の変化を“進取”、積極的に採り入れてチャンスとするには、もう一歩踏み込んだ取り組みが必要です。

それが、バンザイが長年提唱している「トータルエイミング」です。単にスキヤンツールでの故障診断やADAS用センサーの調整を行うだけではなく、ボディ・シャシー全体も点検整備することでADASの正常動作を確認。これをデジタル化された最新の整備機器で、より早く、正確に、少ない労力で行う「トータルエイミング」を推奨しております。

どれほど世の中が、クルマが、設備が変わろうとも、カーオーナーがサービスショップの皆様にも求めるのは、いつの時代も“安心”です。バンザイはこの、不変かつ普遍的なカーオーナーのニーズに応えるサービスショップの皆様を、今後とも全力でサポートして参ります。本年もさらなるご愛顧を、心よりお願い申し上げます。

# 体制再編と新型設備で高めた生産性と働き方改革を推進する新社屋で、会社の経営効率化をけん引

大胆な組織改革を行う群馬日野自動車株式会社が、今般新社屋を竣工させました。受付から整備までのスキームを見直し、新たなオペレーションを再構築するとともに、最新の設備で整備をマネジメントする手法で大幅な時短と生産性を実現しています。慢性的な人手不足が常態化する自動車整備業界にあって、同社高崎支店の取り組みは大型車整備の生産性を高める有効なモデルケースになる可能性を秘めています。



群馬日野自動車株式会社高崎支店の外観。



高崎支店 支店長 秋本 伸一氏  
高崎支店 工場長 関口 知幸氏  
サービス部 整備課 係長 萩原 滋希氏



高崎支店のサービス工場。



入口にコンシェルジュを常駐。



受付と事務室を分離し、営業体制を効率化。

## コンシェルジュとコントローラーを新設

1927年(昭和2年)に創業した中村運送店を前身とする群馬日野自動車株式会社は、ほぼ1世紀に渡り、販売とサービスの両面で北関東の物流を支えてきました。2023年度に同社は中村 丙午社長の指揮のもと大きな改革を実施。従来、2支店と3テクノセンターからなる体制を5支店(前橋、高崎、太田、上武、吉岡)に再編し、経営効率化と組織体制強化を図りました。こうした中、高崎支店はサービス体制の強化と拡充を目的に社屋の移転を実施、2024年10月17日より営業を開始しました。

「人手不足などにより、サービスの入庫を制限することもあり、改革が求められていました」と秋本伸一支店長。こうした思いとともに、経営の効率化を具現化した新社屋は、従来の大型車ディーラーにはない様々な仕組みと設備を整え、様々な改革にチャレンジしています。

新社屋の最大の特徴はサービス品質の向上に向けた取り組みの具現化です。社屋のエントランスにコンシェルジュを配置することで、ユーザーの要望に応じた適切な対

応のふるい分けを実施、サービスの迅速化に加え、社内体制のタイムロスの減少に繋がっています。

また、サービス部門ではフロントと16名のメカニックの間に立つコントローラーと呼ばれるポストを新たに設けることでサービスにおけるオペレーションの再構築に取り組んでいます。コントローラーは工場全体を俯瞰し、メカニックの状況を把握することで、フロントが受付した整備指示書に基づき、適切な整備を差配する役割を担っています。これにより、従来タイムロスが生じていたサービス体制の隙間時間を埋め、メカニックのレベルに合わせた作業とスケジュール管理をマネジメントすることで、より効率的で効果的な整備作業が行える環境をセッティングします。秋本支店長は、「メカニックの性格や力量を理解している人材をコントローラーに配していることでサービス現場の最適化はかなり進んでいます」と効果を実感。今後さらに作業の最適化と迅速化を最大化させることで、フロント業務と検査員業務の仕事量も減らし、働き方改革の推進にも繋げる構えです。

## 大幅な作業の時短を実現! 整備機器の設備投資

一方、経営改革は社内体制の見直しに留まらず、新築したサービス事業場についてもメカニックの負担軽減に貢献するべく、効果的な設備投資を行いました。中でもフロアリフトの導入により、メカニックの動きがダイナミックに変化しているとの効果を実感されています。

「作業に取り掛かるまでの準備時間をまるまる短縮できており、1台あたりの作業短縮が実現しました」(秋本支店長)、「フロアリフトは3ストール導入し、常時誰もが使用できるため効率性が最大化しました」(関口工場長)、「その3ストールに廃油システムを導入している点は作業性とメカニックの負担軽減効果も大きいと感じています」(萩原係長)。

工場レイアウトは、検査ラインをスルーレーン化、また部品洗浄機の設備などを効果的に配置することで移動の最小化が図られました。体制、設備を含めた両輪で人手不足と働き方改革を改善し、入庫拡大に取り組んでいます。

なお、新社屋にはカフェテリア、入浴施設、ジム設備(今後導入予定)の設置をはじめ、広くて清潔な休憩室と食堂など、整備士への手厚い福利厚生が取り入れられています。

「高崎支店の取り組みは他支店からも注目を集めています」と秋本支店長。その壮大な取り組みは同社内だけでなく、全国の整備業界が注目すべき事例といえます。



メカニックの休憩室は広々としてくつろげる空間。



浴室はシャワーと浴槽を完備。



温かみのある雰囲気、リフレッシュできる食堂。



サービス工場はL字型にレイアウト。画像はL字の長辺部。検査ラインを含めて全12ストール。



フロアリフト地下の廃給油システム。 2柱リフトは3ストール設備。



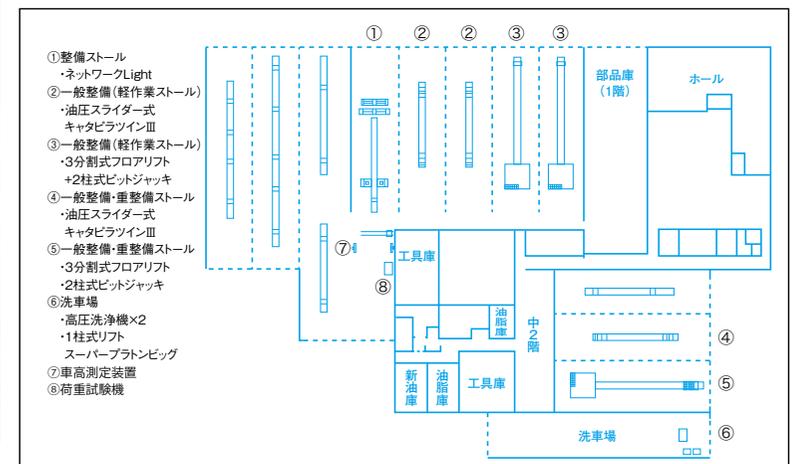
通り抜け可能なスルーレーンの検査ライン。 車高測定装置と荷重試験機。



リール架台とLED設備。



洗車場には高圧洗浄機「NICE HOT」を2機設備。 天井クレーンを4基導入。



2024年10月16日(水)・17日(木) @ 岐阜

# MSC 感動夢工場 第5回研究会



MSC 感動夢工場 小川慶一会長

北は北海道、南は九州・沖縄まで、全国の主要な整備事業者で組織するMSC 感動夢工場は2024年10月16日(水)・17日(木)、岐阜市の(株)ツールプラネット本社にて第5回研究会を開催しました。同会はMSC 経営戦略会議とボランティアチェーンの感動夢工場が合併して設立。設立後は研究会に参加する会員が増加し、活発な会が開催されています。今回は最新のスキャンツール事情をはじめ、(株)バンザイの名古屋トレーニングセンターの見学、そして次世代自動車の車体整備に対応したBP工場を竣工させた日の丸興業(株)「HINOMARU BODY SHOP」の見学などを実施するなど、充実の研究会となりました。

## 挨拶 ■ 結束して新制度に対応

新会長に就任し、初めての研究会となった今回、挨拶に立った小川慶一会長は先般自社に監査が入ったことを踏まえ、「自動車整備業界にも大変革の時代が到来し、電子制御装置整備に加え、OBD 検査のスタートなど、様々な課題が出てきました。新しい制度への対応はコンプライアンスを含めて進めていかねばなりません。先日、当社に監査が入りましたので、今は強くそう感じているところです」と語り、会員らに、緊密で活発な情報交換により、円滑に新制度に移行できるよう、結束を呼びかけました。

## 見学 ■ (株)バンザイ 名古屋トレーニングセンター

(株)ツールプラネット本社に隣接して建設された(株)バンザイの名古屋トレーニングセンターは2023年10月にオープンしました。今回、同センターを見学し、フラット仕様のXリンク式ドライブオンリフトをはじめとする最新の機械工具などの研修を行いました。



## 講演

「OBD 車検と今後のスキャンツール」  
寺川 佳秀氏 (株)ツールプラネット 取締役



「TPM シリーズ」を筆頭にパフォーマンスの優れた製品を開発する(株)ツールプラネットは(株)バンザイにスキャンツールをOEM 供給する企業でもあります。今回はメーカーの立場からスキャンツールの現在地と診断機の未来についてお話いただきました。まず、寺川氏はスタート直後のOBD 検査の流れを検査用スキャンツールの操作方法とともに解説。検査用と整備用で用途の異なるスキャンツールの特性にも触れ、専用スキャンツールを設備することで「OBD 検査の効率化が図られる」と説きました。将来的に自動車の車載通信は現在のCAN からEthernet (イーサネット) に変わることが予定されているとし、「ISO13400 規格の搭載機種が主流になります」と今後のスキャンツール選びのポイントをアドバイスいただきました。

## 見学 ■ 日の丸興業(株) HINOMARU BODY SHOP



HINOMARU BODY SHOP  
岐阜県岐阜市西明見町22  
敷地面積 930 m<sup>2</sup>・スタッフ数 10 名

1952年に日の丸自動車(株)の自家工場としてスタートした日の丸興業(株)は、その後一般ユーザーの車両整備、車体整備など業務を次々に拡張してきました。2024年1月、钣金・塗装工場の老朽化に伴い、最新の設備を導入した新工場、「HINOMARU BODY SHOP」をオープンさせました。

同ショップは水性塗料の導入による専用塗装ブースを2基、4輪アライメントテスターの設備、そしてアルミ製パネルの修理に対応する専用ベイの設置など、最新の自動車技術に対応しています。また、テュフラインランドのプラチナ認証、そしてボルボジャパンの認定工場として、それぞれ認証・認定されました。

## 乗車体験 ■ 自動運転バス GIFU HEART BUS

岐阜市では、2022年より5年間の期限を設けて、自動運転バス「GIFU HEART BUS」の実証実験が行われています。車線変更や緊急時の停車などの操作は車内に乗車したオペレーターが行うため、自動運転レベルは2ですが、運転手は不在のため、ほぼ自動運転という路線バスです。

今回、MSC 感動夢工場会員の皆様が分乗し、



整備工場内観。右のストールはアルミ専用ベイ。



アルミ補修の条件をクリアした専用ベイ。



水性塗料の導入に加え、コンピューター調色システムを設備。

岐阜市内を一周。多くの会員が、来たる自動運転時代を体感しました。



自動運転バスに乗り込む会員。車内ではオペレーターが安全確認や車両操作などを実施。

# SHOW ROOM

# SHOW ROOM

## 【光学式3Dアライメントテスター】キューライン ML-Q-LIGN

測定用カメラが小型軽量化!  
ワイレスに進化して、まもなく発売!

- センサーヘッドをサイズダウンおよび軽量化したことで、運びやすくなりました。またコンパクトPCとの通信が、無線式のため操作性や収納等の利便性が向上しました
- 新ターゲットクランプ「Q-Grip」を採用することで、ホイールを傷付けることなく簡単にターゲットを取付けることができます
- 従来のWindowsPCからタブレット操作のコンパクトPCに変わったことで、大きなキャビネットを設置せずにアライメント測定が可能になりました



### 仕様

型式	ML-Q-LIGN
対象車種	軽四輪～普通自動車
センサー寸法 (mm /個)	W375× D315× H135
センサー重量 (kg /個)	約 5.8
センサー使用電源	リチウムイオンバッテリー
その他使用電源 (V)	AC100 (コンパクトPC、バッテリーチャージャー)
測定項目	トー(トータル・個別)、キャンバー、キャスター、キングピン、T.O.O.T、スラストアングル



新型ターゲットクランプ「Q-Grip」

### Q-Lignセットアップイメージ



## 【樹脂溶接機】プラスチックフュージョンシリーズ PWN-10402/PWA-10452

新開発の溶接ストリップによりエアーでの樹脂溶接が可能!  
やさしい加熱のソフト樹脂溶接システム

- BMW/TOYOTA(EU) 車体補修プログラムに採用
- 小型・軽量の溶接トーチ採用により作業性向上
- 国産車など薄い母材に適応した加熱システム
- 自動スリーブ機能付きトーチホルダー採用
- タック専用トーチ付き
- 樹脂デント作業可能
- 豊富な作業ツールを標準装備



PWA-10452 (エアー専用樹脂溶接)



PWN-10402 (窒素ガス/エアー兼用樹脂溶接)

### 仕様

型式	PWN-10402	PWA-10452
入力電源 (V)	単相 AC100 ± 5%(50/60Hz)	
定格消費電力 (W)	700	
定格入力 (A)	7	
加熱トーチ長さ (cm)	131	
調整出力温度範囲 (°C)	50～480	
温度検知・温度制御方式	熱電対・無段階デジタル表示 温度/風量制御	
エア流量調整 (%)	20～100	
空気圧力発生エアポンプ	内蔵ダイアフラムポンプ	
エアポンプ調整流量範囲 (L/m)	0.3～24	
使用周囲温度 (°C)	5～45	
本体寸法 (mm)	W290× D300× H200(ハンドル含む)	
本体重量 (kg)	4.9	4.5
全体寸法(カート含む) (mm)	W440× D835× H1,000(タイヤ、ハンドル含む)	W440× D595× H1,000(タイヤ、ハンドル含む)
全体重量(カート含む) (kg)	40.0	36.5

# SHOW ROOM

## 【プレートリフト用ウレタン製 2WAYアタッチメント】マグピタくん MGPT-0004

マグネットで車にピタッとくっつく!  
リフトアップが「劇的」に安全&楽になる!

- 作業時間短縮!  
マグネット内蔵で位置合わせが容易!
- 安全性向上!  
手指がはさまれない!足腰が痛くならない!
- 1個二役!  
High/Lowの2WAYで使える!



### ■仕様

型 式	MGPT-0004(マグピタくん 4個)
本体寸法 (mm)	【Lowモード】 W90× D135× H90 【Highモード】 W88× D90× H135
本体重量 (kg)	1.16(1個あたり)
耐 荷 重 (kg)	1,000(1個あたり)

## 【人感センサー】セーフティーモーションセンサー SMS-A1B

リフト作業者の死角となる助手席側をセンサーにより監視!  
リフトに挟まれる労働災害を防止します

- リフト助手席側を監視し、人を検出すると制御盤の表示ランプが点灯しリフトの下降動作を停止することによって、リフトに挟まれることを防止します。
- 検出解除の約2秒後に表示ランプが消灯し、リフトの下降動作が可能になります。
- センサーを2個使用することによって、車両のドアを開けた状態でひとつのセンサーが車両のドアに遮られていて人を検出できない場合でも、もうひとつのセンサーで人を検出することが可能です。
- 多くの既設リフトに取り付けが可能で、より安全にリフトをご使用いただけます。
- 構成は制御盤×1、人感センサー(ブラケット付)×2になります。
- センサー取付高さはFL+3000mmになりますが、車両の横幅より外にセンサーが取付くため、リフトアップ時にセンサーと車両が接触することはありません。



センサー監視範囲(参考)

# SHOW ROOM

## 【コネクター取り外しツール】マルチスナッパー ISO-919 / マルチスナッパーロング ISO-929

掴みにくい! 固着している!  
はずしにくいコネクター接続ケーブルの取り外しや狭い箇所での作業に大活躍!

- 右の爪と左の爪が段差になっており、コネクターのロックを押しやすく、しっかりとコネクターを抑えるので滑り難い
- 固着して取れにくい電気系統コネクター(カプラ)の脱着に最適
- 衝撃を吸収するソフトグリップ
- 高品質で耐久性バツグン

### ■ISO-919



### ■ISO-929



### ■仕様

型 式	ISO-919
本体長さ(全長) (mm)	130
爪 幅 (mm)	9 / 6
ツ ノ 幅 (mm)	43
重 量 (g)	57.5

型 式	ISO-929
本体長さ(全長) (mm)	(長い爪) 182 / (短い爪) 176
爪 幅 (mm)	9
ツ ノ 幅 (mm)	53
グリップ長さ (mm)	101
重 量 (g)	142

## 【マスキングテープ】パープルセパレートラインテープ

塗装面と非塗装面の堺際やストライプカラー、コントラストカラー、ペイント区分けなどの見切り作業に

- さまざまな形状やカーブに対応する非常に優れた柔軟性と形状適応性
- 耐熱温度150℃(1時間以内)
- 特殊な半透明パープル色で堺際が分かりやすく貼り付けも簡単
- UVランプのような紫外線対応



使用イメージ

### ■仕様

型 式	PSLT-1.5	PSLT-2	PSLT-3	PSLT-6	PSLT-9	PSLT-12
材 質	ポリ塩化ビニール					
色	パープル					
幅 (mm)	1.5	2	3	6	9	12
長 さ (m)	55					
厚 さ (mm)	0.13 (± 10%)					
耐 熱 温 度 (°C)	150(1時間以内)					



# サワディーカップ 新駅の完成間近! バンザイタイランド

海外情報

## バンザイタイランドの歩み

バンザイタイランド（BTL）が創立したのは1969（昭和44）年12月のこと、当時、タイの産業振興策により日系自動車メーカーの進出があい次ぎ、同国における自動車産業は急成長しつつありました。それまでバンザイではタイ代理店のフジマーカンタイル社と連携して自動車整備機器市場の開拓にあたっていました。サービス市場の急速な拡大にともない、現地への進出を図ったのです。

2011年に同国は新車購入奨励策として「ファーストカープログラム」を実施し、国内自動車市場はさらに急拡大しました。現在、同国の自動車産業は生産台数では年間約200万台にまで成長し、ASEAN諸国最大の自動車産業国として成長を続けています。BTLは同国の経済成長と軌を一にして歩み、現地従業員とともに自動車サービス業の支援を通じてビジネス拡大を推進しています。



## アクセス向上でさらに飛躍する

ただいております。

毎朝、サービス、営業チームと朝礼を実施しており、その日の業務や月内のスケジュール確認、修理予定の部品の納品日、機器据付先工場のピットの状況などを共有します。また、1階にはバッテリーテスターやエアコンガス補充機、リフトのシリンダーなどを修理・交換する作業場があります。なお、オフィスの2階は総務・経理部門で、在庫管理なども行っています。

「写真撮るよーっ」とスタッフに声をかけると「今日メイク薄いのに。もっと早く言っよー」って言われました。



サービスと営業チームの朝礼の様子



総務と経理部門



シャシーダイナモーターのメンテナンスを行うBTL社員



BTL社屋1階の作業場

## BTLとバンコクとわたし

バンザイタイランド 小泉 繁

## 2025年、オフィスの隣に新駅開通

皆様、サワディーカップ（こんにちは）。

バンザイタイランド（BTL）に勤務している小泉繁です。BTLに勤めて約5年になりました。タイは、東南アジアに位置する国で正式名称はタイ王国です。タイに来る前は象が道を歩いているのをイメージしていましたが、首都のバンコクは都会でビックリしました。BTLのオフィスはそのバンコクにあります。1995年に Sukhumvit Road から、Minburi という所に移転しました。バンコクを中心地から少し離れていますが、2025年中に開通予定の新駅がBTL社屋の隣にできますので、これからより便利になっていくと思います。

わたしのデスクはオフィスの1階にあり、週の半分は会議や打ち合わせ、それ以外はお客様の自動車ディーラーや自動車製造工場に機器の設置や校正、改造、修理などをご訪問させてい



完成間近の新駅に隣接するBTL社屋

## 美しい自然と文化、そしてタイ料理

さて、タイについて少しご紹介します。タイには美しいビーチ、熱帯雨林の山々が広がり、観光地として人気があります。レオナルド・ディカプリオ主演の映画「ザ・ビーチ」はタイ南部のリゾート地、ピピ島で撮影され有名になりました。一方、壮麗な寺院をはじめ、ロイクラトンやソンクラーンといったお祭りなど豊かな文化と遺産もタイの見どころの一つです。

また、タイの醍醐味と言えばタイ料理ですね。

スパイシーで風味豊かな料理が多く、いたるところに屋台があるので手軽においしいタイ料理をいただくことができます。タイの人は辛さに強く、「これは辛いよ」と勧められて食べてみたら激辛だった事も多々あります。BTLオフィスの近くに日本でも人気のあるガパオライスのお店があります。ちなみにガパオとはハーブの名前です。日本でもコンビニや飲食店などでガパオライスが売っていますね。

このように、タイには、美しい自然、活気あふれる市場、長い歴史と独自の文化があります。また、バンコクの賑やかな街並みでは、タイ料理を楽しんだり、ショッピングを満喫したりできます。タイに興味がありましたら、是非お越しください。コップンカップ（ありがとうございます）。



日本でも人気のガパオライス

## バンザイタイランド(BTL) 創立55周年記念式典・祝賀パーティを開催

タイで自動車整備機器とサービスを提供するバンザイタイランド(BTL)は1969年の創立から、2024年12月で55周年を迎えました。2024年12月16日、創立55周年記念式典と祝賀パーティをバンコクのタラガーデンホテルにて開催しました。



BTLのスタッフ一同



創立55周年の祝辞を述べるバンザイの柳田昌宏社長

## タイのモータリゼーションとともに歩んだ55年

タイの自動車産業は、1960年代の日系自動車メーカー参入を契機に発展を続け、2013年には約246万台を生産し、世界第9位の自動車生産を確立するに至りました。BTLは1969年の創立以来、タイのモータリゼーションとともに歩み、今日までタイの交通社会を支えてきました。

今般開催した創立55周年記念式典と祝賀パーティーには、バンザイの柳田昌宏社長と木村亨取締役海外販売部長、福島義一取締役経営企画管理室長が出席、永年勤続の現地社員を表彰するとともに、節目を迎えたBTLをお祝いしました。



木村取締役と永年勤続表彰者



福島取締役と永年勤続表彰者



永年勤続表彰を受けた全スタッフと柳田社長(中央)



記念式典に先立ち、BTL社屋にて積徳の儀(9人の僧侶に托鉢と供養)を執り行いました



アンサンブルの演奏とともに祝賀パーティを開催

# BANZAI GUIDE

## 期末感謝セール 第12弾 39キャンペーン開催!!



日頃のご愛顧に感謝し、本年も「期末大感謝セール・39キャンペーン」を開催します。ご好評のうちに12回目を迎え、対象商品もさらに厳選、充実した内容でお届けします。心ばかりの感謝の気持ちではございますが、是非この機会にご利用ください。掲載商品の詳細につきましては弊社ホームページ、各商品カタログ等をご覧ください。



開催期間

令和7年1月6日(水)～3月31日(月)まで

編集後記



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。2024年も沢山の出来事がありましたが、パリ五輪では日本人選手が大活躍し、金メダル・メダル総数ともに海外大会最多を更新しました。熱気とプレッシャーに包まれながら、大きな感動と夢を与えてくれたことは記憶に新しいところです。

さて、本年はオートサービスショーが開催されます。パリ五輪に負けない熱気と様々な展示品で皆様のご来場をお待ちしておりますので、弊社のブースまで足を運んでいただければ幸いです。末筆ながら本年も皆様の笑顔あふれる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

<高泉>